

肝胆膵外科

救える命を増やすために 一途に拓く膵臓がん根治への道



肝胆膵外科
松本 逸平 主任教授

(まつもと いっぺい)
1993年に大阪医科大学(現大阪医科薬科大学)を卒業。その後、神戸大学の外科入職、米国ミネソタ大学留学を経て2014年から近畿大学に勤務。2023年4月より、近畿大学医学部外科の肝胆膵部門で主任教授。専門は肝胆膵外科で、特に膵臓の疾患に従事。趣味は、体力づくりも兼ねて登山やサッカーなどを動かすこと。

日本人の部位別がん死亡数で4番目に多い膵臓がん(膵がん)は、早期発見や治療が難しい病気です。
松本逸平主任教授は、膵臓がんを中心とした膵臓疾患の診断・治療におけるスペシャリストとして、日々奔走しています。

休日は山登りでリフレッシュ

大阪医科大学(現大阪医科薬科大学)を卒業後、神戸大学肝胆膵外科などで臨床経験を重ねたのち、近畿大学病院に着任し、2023年から肝胆膵外科の主任教授を務めています。家族との住まいは神戸にあるのですが、今は仕事が忙しく通勤に時間もかかるため、平日は大阪に単身赴任をしています。山登りが好きで、以前は六甲山によく登っていましたが、想像以上にきつかったです。もう少し仕事が落ち着けば、時間を見つけてまた山に登りたいですね。

地域連携により早期発見が増加

肝胆膵の中でも、私の専門は膵臓疾患の外科治療です。当院は膵

臓がんの患者さまが多く、手術実績数では関西で上位にランキングしています。近年は日本だけでなく、世界的に膵臓がんの患者さまが増加しているのですが、その要因はまだわかっていません。

膵臓がんの発生を高めるリスクとしては、大量の飲酒や喫煙、肥満、糖尿病、膵のう胞などが挙げられます。けれども、有効な検査方法が確立されておらず、初期は自覚症状がほとんどないため、進行してから見つかることも少なくありません。そこで私たちは、初期の膵臓がんの発見に役立つ情報を地域の医療機関へ提供し、疑いのある患者さまを当院の精密検査につなげる働きかけを行っています。この取り組みが功を奏し、膵臓がんが小さな段階で見つかるケースが増えました。

クリックで拡大

消化器内科や腫瘍内科、放射線治療科と連携し、各領域の専門医が集まって個々の患者さまに適切な治療方針を検討しています。

根治への大きな一歩となるのは手術です。進行した膵臓がんに対しては、がんが広がった周辺臓器や血管も一緒に切除する拡大手術を行います。また、膵臓を小さく切るだけで治る見込みがある場合は、切除部分を最小限にして機能を温存したり、初期や良性の腫瘍には傷の小さな腹腔鏡手術やロボット支援下手術を採用し、身体への負担を少なくしています。膵臓がんの手術は難易度が高いため、できる病院が限られており、豊富な経験と実績を持つ当院では、患者さまの安全を第一に行っています。

生活面もきめ細やかにフォロー

また当院では、治療中に体力や食欲が低下した患者さまにリハビリや栄養指導を実施し、術後の悩みや困り事を医師に相談する「膵がん教室」を開催するなど、がんになった後の生活のサポートにも注力しています。今後は、膵がん

さまざまな専門的治療に対応

膵臓がんの主な治療法としては、手術、化学療法、放射線療法があります。今は一つの治療法だけでなく、がんの進行度に応じて複数の治療法を組み合わせ、効果を高める治療が進んでいます。当院では、



に関する知識や情報を広く伝える活動も積極的に行っていきたいと考えており、8月24日には膵がんをより知るための市民公開講座の開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

近大
メディカルラジオ

新任さん
いらっしゃ〜い!
~肝胆膵外科~
松本主任教授



2つの膵がん講座 無料 予約不要

7.10(水) 14:30~16:00

第2回 膵がん教室

対象 当院外科通院中の方とご家族
開催場所 近畿大学病院 PET棟3階大会議室

予約受付 近畿大学 医学部 外科学教室
072-366-0221 (内線3114)

8.24(土) 10:00~12:00

市民公開講座
「知っておこう!膵がんのこと」

対象 どなたでも
開催場所 近畿大学医学部 円形棟 大講堂
開催方法 対面形式・zoom(オンライン形式)

オンライン参加方法や 講座の内容など
イベントの詳細はP7へ